

科目名	設計演習 1							年度	2025
英語科目名	Design Exercises I							学期	後期
学科・学年	建築学科 1 年次	必／選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	升水 健太	教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築設計		
【科目の目的】									
・住み手のキャラクターや新たなライフスタイルの物語を設定することができる ・周辺環境や各自が設定した物語と関係付けた空間を構想し、各種図面や模型などに表現することができる ・プレゼンテーションシートを作成し、講習会で他者に向かって建築提案をプレゼンテーションすることができる									
【科目の概要】									
木造一戸建て住宅の設計課題を通して、住宅の平面計画や断面計画を思考し、建築物としてA3の提案書にまとめる また、自分の提案を他者に伝えるためにプレゼンテーションを行う									
【到達目標】									
A. 敷地と周辺環境の特徴を観察し、住み手のキャラクターやライフスタイルの物語を設定できる B. 具体的な空間を構想し、敷地図、各階平面図、断面図、立面図を描き、模型をつくることができる C. 他者に向かって自分のアイデアや提案をプレゼンテーションすることができる									
【授業の注意点】									
評価は出席状況や提出状況と成果物をルーブリックにもとづいて行い、講習会においても評価を行う。 学生による自己評価及び相互評価も実施し、評価に勘案する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル 3 優れている		レベル 2 ふつう			レベル 1 要努力			
到達目標 A	敷地と周辺環境の本質的特徴を抽出でき、住み手やライフスタイルに関する興味深い物語を設定できる		敷地と周辺環境の特徴を抽出でき住み手やライフスタイルに関する物語を設定できる			敷地と周辺環境の特徴を抽出できず、住み手やライフスタイルに関する物語を設定することに興味がない			
到達目標 B	設定条件から興味深い空間を構想し、各種図面や模型やCG動画などで、熱意ある制作物をつくることができる		設定条件から空間を構想し、各種図面や模型で、制作物をつくることができる			設定条件から空間を構想できず、各種図面や模型で、制作物をつくることできていない			
到達目標 C	他者に向かって理論的に順序良く、魅力的なプレゼンテーションをすることができる		他者に向かって理論的にプレゼンテーションをすることができる			他者に向かって理論的に自分のアイデアをプレゼンテーションする気力がない			
【教科書】									
『建築デザイン製図』学芸出版社									
【参考資料】									
資料プリント									
【成績の評価方法・評価基準】									
毎回の授業への取り組み姿勢、出席状況、成果品等で評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

